

令和9(2027)年度
日本体育大学大学院 身体総合学術研究科
身体総合学術専攻 博士前期課程
学内選抜入学試験要項

教育学学位プログラム

■不測の事態により入学試験要項の記載内容に変更が生じた場合は、日本体育大学 n-pass のお知らせにて周知いたします。

日本体育大学

目 次

I. 身体総合学術専攻 教育学学位プログラム 博士前期課程について	
1. 人材養成その他教育研究上の目的	3
2. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）	3
3. 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）	3
4. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	4
II. 受験要領	
1. 募集人員	4
2. 出願要件	4
3. 学位プログラム及び分野	4
4. 入学試験日程等	5
5. 出願書類	5
6. 外国籍を有する者の出願書類について	6
7. 障がい等のある入学志願者の事前相談について	6
8. 出願手続	7
9. 受験票について	7
10. 選抜要領	7
11. 口述試験要領	8
12. 合格発表	9
13. 入学手続	10
14. 学 費	10
III. 2027 年度 研究指導担当教員及び研究指導領域	12
【博士前期課程】研究指導教員一覧表（研究指導補助教員を含む）	16

《出願写真に関する注意事項》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（巻末）

《各種様式・所定用紙》・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（別添）

博士前期課程提出用紙

「受験票・志願票（A4用紙から切り取り）」、「履歴書」、「志望理由書」、「志願者情報登録カード」、
「口述試験実施希望日調査書」、「オンライン試験同意書」、「研究計画書」、「研究指導教員推薦書」、「承諾書」、
「外国人入学願書」、「入学試験に係る事前相談について」、「振込依頼書（A4用紙から切り取り）」、
「宛名シート（出願時の書類送付用）」

I. 身体総合学術専攻 教育学学位プログラム 博士前期課程について

1. 人材養成その他教育研究上の目的

教育に関する課題を見いだし、その課題を追究し、絶えず教育活動の改善、その中でも特に授業の改善を行う「実践的な教育力」を備えた教師の養成を目指す。

教育の意義と役割を理解し、現代の教育課題を的確に捉え、教育学の諸分野の学術的アプローチを用いてその課題を解決する能力を習得させる。とりわけ小学校における教科（国語、社会、算数、理科、体育）の学習指導の専門性、あるいは、教育心理学や行政学等の基礎教育学の専門性を高め、教師としての探究力と実践的な研究能力を習得させる。

2. 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

本学大学院学則及び関連規程に規定する修了の要件を充足した上で、次の知識・能力を有することが認定された者に修士（教育学）の学位を授与する。

《知識・理解》

[DP1] 学際的知識

身体に関する学際的視点（体育学・教育学・保健医療学）に基づいた幅広い知識を有する。

[DP2] 専門的知識

教育学に関する高度な専門的知識を修得し、最新の研究動向を理解している。

[DP3] 倫理観

研究者または高度専門職業人として必要な倫理的知識と倫理観を備えている。

[DP4] 国際性

教育学に関する知見を国際的視野から捉え、国際的な学術動向を把握している。

《専門的能力・汎用的能力》

[DP5] 研究遂行力

自ら研究課題を設定し、適切な研究計画を立案・実施できる。

[DP6] 論理的思考力

研究結果を的確に整理・考察し、成果として論理的にまとめることができる。

[DP7] 発信力・表現力

専門知識や研究成果をわかりやすく構成し、的確に伝達できる。

3. 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を達成するため、「大学院共通科目」「教育学研究群基礎科目」「教育学研究群教科実践科目」「教育学研究群専門科目」により体系的に教育課程を編成している。

[CP1] 体育学、教育学、保健医療学など、身体に関する学際的な視点に基づく知識と研究倫理の理解を深めるため、「大学院共通科目」を配置し「身体総合学術論」を置く。

《DPに掲げる知識・能力》学際的知識、倫理観

[CP2] 基礎教育及び教科教育の専門的知識を修得するため「教育学研究群基礎科目」（基礎教育概論、教科教育概論、基礎教育特論、教科教育特論、学校現場実習）を配置する。

《DPに掲げる知識・能力》専門的知識

[CP3] 小学校における主要教科（国語、社会、算数、理科、体育）の学習指導に関する実践的な専門性を高めるため「教育学研究群教科実践科目」（各教科の実践研究）を配置する。

《DPに掲げる知識・能力》専門的知識

[CP4] 指導教員のもとで、研究計画の立案から分析、論文検索（外国語論文含む）、論文執筆、成果発表に至る一連のプロセスを実践的に遂行することで、研究遂行力・論理的思考力・発信力・倫理観を総合的に育成するため、専門科目「（各分野）特別研究Ⅰ～Ⅳ」を配置する。また、各教科および基礎教育において、実践事例に潜む学習内容の構成原理を明確にし、それに基づいて新たな内容や事例を企画・検証する方法を修得するため「（各分野）セミナー」を配置する。

《DPに掲げる知識・能力》研究遂行力、論理的思考力、発信力・表現力、倫理観・国際性

[CP5] 他学位プログラムの科目を履修可能とし、専門的知識及び学際的知識の深化を図る。

《DP に掲げる知識・能力》学際的知識、専門的知識

4. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

教育学学位プログラムの教育目的を達成するために、以下の資質を有する学生を求めます。

[AP1] 教育学に関する基礎的な知識を有している者。

[AP2] 教育分野における指導者、研究者、教育の発展に貢献する人材となることを志し、将来、国内外で積極的に教育に携わる意欲をもつ者。

[AP3] 教育学の研究や実践において、創造的な発想や発展の可能性を有し、新たな知見や価値の創出に意欲をもつ者。

[AP4] 基礎的な英語力を有していることが望ましい。

II. 受験要領

1. 募集人員

身体総合学術研究科 身体総合学術専攻

課程	学位プログラム	入試方式	募集人員
博士前期課程	教育学学位プログラム	学内選抜	若干名

2. 出願要件

- (1) 本学各学部を令和 9(2027)年 3 月に卒業見込みの者
- (2) 博士前期課程研究指導教員から推薦を受けた者
- (3) 合格した場合、本研究科へ確実に入学の意思がある者

3. 学位プログラム及び分野

学位プログラム	分野
教育学学位プログラム	国語科教育
	社会科教育
	算数科教育
	理科教育
	体育科教育
	基礎教育

4. 入学試験日程等

学内選抜入試	日 程
出 願 期 間 (出願書類受付期間)	2026年8月17日(月)～ 2026年8月21日(金)
口述試験日の案内 (受付時間・URL 配信)	2026年8月24日(月)～
書類審査・口述試験 (オンライン)	2026年8月31日(月)～ 2026年9月5日(土)
合 格 発 表 日	2026年9月11日(金)
入 学 手 続 締 切 日	2026年9月30日(水)

5. 出願書類

出願書類のうち所定用紙となっているものは、別添《各種様式・所定用紙》から印刷して作成してください。

※提出する各種証明書の記載氏名が出願時の氏名と異なる場合は、氏名変更が確認できる戸籍抄本等の書類もあわせて提出してください。

出願書類	連絡・注意事項
(1) 受験票・志願票 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> 志望学位プログラム、分野は「3. 学位プログラム及び分野」から選択してください。 氏名は戸籍上の氏名を記入してください。 写真は、「出願写真に関する注意事項」を参照の上、規定に沿ったものを貼付してください。
(2) 履歴書 (所定用紙)	<ul style="list-style-type: none"> 「学歴」欄は高等学校卒業から記入してください。但し、外国の学校教育を受けたことがある者は小学校から記入してください。大学、研究所等で研究生等研究歴がある場合は、その期間も記入してください。 「職歴」欄は勤務していた全ての職を年月順に記入してください。社会貢献活動の経験はこの欄に記入してください。 <p>記入欄が不足した場合は、同一様式の別紙に記入し添付してください。</p>
(3) 志望理由書 (所定用紙)	研究指導を希望する教員と履修・研究等について必ず事前の相談を済ませてください。
(4) 志願者情報登録カード (所定用紙)	必要事項を確認して記入してください。
(5) 口述試験実施希望日調査書 (所定用紙)	予め研究指導教員と希望する日時を調整したうえで実施希望日を記載してください。
(6) オンライン試験同意書 (所定用紙)	口述試験をオンライン形式で実施します。内容を確認し、 <input checked="" type="checkbox"/> 及び署名・捺印をしてください。

(7) 学業成績証明書	本学学部における成績証明書
(8) 卒業見込証明書	本学学部を令和9(2027)年3月卒業見込である証明書
(8) 研究計画書(所定用紙)	A4版の用紙(横書き)で、パソコン等により2,000字程度で作成し、片面印刷したものを所定用紙に添付してください。 以下の内容に沿って作成すること。 ①研究題目 ②研究の背景及び目的 ③方法
(10) 研究指導教員推薦書 (所定用紙)	研究指導担当予定教員からの推薦書
(11) 承諾書 (該当者のみ・所定用紙)	入学後に在職予定の者は、雇用責任者または代表者の承諾書を提出してください。
(12) 外国籍を有する者の出願書類 (該当者のみ)	外国籍を有する者は、出願書類の他に、下記の書類を提出する。但し、現に日本国内に在住し、在留資格が「特別永住者」、「永住者」の者は(1)住民票の写しまたは住民票記載事項証明書のみ提出する。 (1) 住民票の写しまたは住民票記載事項証明書(3か月以内に発行されたもので、国籍、在留資格、在留期間を明記したもの。) (2) 在留カードの写し (3) 外国人入学願書(所定用紙) (4) 日本語能力を証明する書類 日本留学試験(EJU)の成績証明書(日本語科目の読解・聴解・聴読解240点以上、記述30点以上)、または日本語能力試験(JLPT)N1以上の合格証明書 (5) パスポートの氏名・生年月日が記載されたページの写し

6. 外国籍を有する者の出願書類について

外国籍を有する者は、「5. 出願書類」を確認し、所定用紙を提出してください。

なお、本学では保証人は出願時には必要としませんが、入学手続き時に保証人を定めて届けることとしています。保証人は日本国籍を有する成年であって、日本国内に居住し独立の生計を営む者となります。

7. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

けが及び障がい等により受験時または入学後の配慮を希望する場合は、下記《事前相談の方法》を確認し、必ず事前相談をしてください。

なお、重度の障がいのある方は、できる限り早い時期にご相談ください。

《事前相談の方法》

事前相談の申請は、「申請書類」の「入学試験に係る事前相談について」を作成の上、医師の診断書などの必要な書類を添付して提出してください。

※ 提供いただいた個人情報は、支援内容検討のために関係部署と共有します。

なお、必要な書類に不明な点がある場合は、提出前に大学院教学センターに確認してください。

申請書類

- (1) 「入学試験に係る事前相談について」(所定用紙)
- (2) 医師の診断書(原本又は写し)
- (3) 身体障害者手帳(氏名・障がい名の頁の写し)(所持者)
- (4) その他相談する際に必要と考えられる参考資料

8. 出願手続

(1) 入学検定料 35,000 円 出願期間内に納入してください。

- ①別添《各種様式・所定用紙等》にある振込用紙（外枠）を切り取り、必要事項を記入し、金融機関窓口で振込手続きをしてください。
- ②インターネットバンキングや ATM でも納入可能とします。この場合、振込手数料はご本人負担でお願いいたします。 ※振込の控えは必ず保管しておいてください。

(2) 出願書類の提出

「5. 出願書類」を確認して、別添《各種様式・所定用紙》の中から必要書類を印刷し作成してください。
《宛名シート》を印刷して必要事項を記入のうえ、角 2 封筒に貼付し提出書類を封入して「速達・特定記録郵便」で郵送してください。窓口提出の場合、東京・世田谷キャンパス教育研究棟 4 階の大学院教学センター（平日 8:30～17:00）に提出してください。

出願期間・書類提出期間：2026 年 8 月 17 日（月）～ 8 月 21 日（金）

提出先：日本体育大学 大学院教学センター
〒158-8508 東京都世田谷区深沢 7-1-1 Tel.03-5706-0915

①郵送の場合：期間内大学必着

「特定記録郵便等受領証」を保管しておいてください。

②窓口提出の場合：最終日は 12:00 締切り

◎注意事項

- ①不備のある出願書類や出願締切日後に到着した出願書類は一切受け付けません。
- ②一度提出した出願書類及び振込まれた入学検定料は一切返還しません。
- ③提出書類の内容に虚偽があった場合は、出願や合格を取り消すことがあります。
- ④身体機能に障がいがあり、受験及び修学上、特別な配慮を必要とする志願者は、事前に大学院教学センターまでお問い合わせください。

9. 受験票について

受験票は出願締切日後に、受験番号を付記し返送します。

2026 年 8 月 27 日（木）迄に届いていない場合には、必ず大学院教学センターに連絡をしてください。

10. 選抜要領

〔試験実施日〕

2026 年 8 月 31 日（月）～9 月 5 日（土） 期間内指定日にオンライン形式で実施

選抜区分	試験科目	内容・留意事項等
学内選抜	書類審査	出願書類に基づいて内容を審査する。 1. 履歴書 2. 志望理由書 3. 研究計画書 4. 研究指導教員推薦書
	口述試験	オンライン形式で実施する。 出願書類に基づき、志望理由や入学後の研究計画について日本語で問う。

1 1. 口述試験要領

口述試験は、オンラインで実施します。以下のことを確認の上、受験してください。

(1) 事前準備（機器・環境等）について

下記の要件を満たす必要があります。試験実施時までに各自準備してください。

なお、接続に伴う通信料の負担や機器類の貸出し等はありませんので予めご了承ください。

【機器類】

- ・ コンピュータ（PC）デスクトップまたはノートパソコン
- ・ イヤホンまたはヘッドホン
- ・ マイク（PC 内蔵または外部のマイク）
- ・ カメラ（PC 内蔵または外部の Web カメラ）

※ 使用機器はコンピュータ（PC）を推奨しますが、下記【アプリダウンロード】及びダウンロード後の使用に問題が無い場合のみ、タブレットやスマートフォンの使用を認めます。

但しそれらを使用する場合、電話の着信や通知等で試験が中断される可能性があるため、使用にあたっては試験に影響が無いように十分に注意してください。

【環境】

- ・ 周囲に騒音等がなく、受験者本人以外の方が在室していない環境。
- ・ オンライン試験に耐える接続状態が良好で安定したネットワーク接続が確保された環境。
（Wi-Fi 使用時における推奨帯域幅：600kbps/1.2Mbps（上り/下り））

※ ネットカフェなどプライバシーに欠ける場所での受験はしないでください。

【アプリダウンロード】

- ・ 試験当日に使用する PC 等に ZOOM 公式ホームページ (<https://zoom.us/download>) より、「ミーティング用 ZOOM クライアント」をダウンロードしてください。
- ・ ダウンロード後、面接試験実施日までに、各自で音声・マイク・映像等に問題ないか確認しておいてください。

参考：ZOOM ミーティングテスト (<http://zoom.us/test>)

(2) 試験日の案内及び受験用 URL の送信について

出願時に提出された「口述試験実施希望日調査書」の希望日時に基づき、試験の実施日時を決定しメール及び電話にて連絡します。「受験用 URL」を送信しますので、ドメイン指定受信をしている場合は、(@nittai.ac.jp) が受信できるように予め設定しておいてください。

口述試験の詳細は出願時に申告された E-mail アドレス宛に通知しますので、必ず確認してください。

試験当日は、大学院教学センターから送信された案内に従って受験してください。

(3) 試験当日の手順・注意事項

【用意する物】

- ・ 受験票、スマートフォンまたは携帯電話 ※試験中はマナーモードにしてください。

事前に申告した番号のスマートフォン、または携帯電話を受験時に手元に用意しておいてください。万一、回線等による音声通信に支障をきたした場合は、スマートフォン、または携帯電話を利用して試験を続行します。

- ① 受験者は事前に送られた口述試験の案内にある受付時刻になりましたら「受験用 URL」に接続をしてください。
- ② 必ず指定された時刻内に接続してください。
- ③ ZOOM に接続後は、必ず表示名をご自身の受験番号に変更してください。
※この時点から試験が終了するまでその場を離れる事はできません。
 - ・ マイクがミュートになっている場合は「ミュート解除」にしてください。
 - ・ モニターに受験者の画像が映らない場合はビデオがオフになっていますので「ビデオ開始」にしてください。
 - ・ 受験票を確認します。カメラに確認できるようにかざしてください。
 - ・ 氏名を確認します。
 - ・ 受験時間になりましたら、担当者が受験番号を呼びますので、担当者に返事をしてください。
- ④ 受験者を担当者が試験室へ移動させます。

- ・ 試験室に移動できた事を確認した後に試験開始となります。
 - ・ 試験担当者からの指示に従ってください。
- ⑤ 試験が終了した後はそのまま退室してください。こちらで強制的に退室させる場合もあります。

【注意事項】

- ・ 必ず受験者本人が参加してください。
- ・ 担当者の指示に従わずに勝手な行動や、行為をおこなった場合は試験不成立とみなし、試験を欠席した扱いとさせていただきます。
- ・ 受験中に回線等による影響での不具合や試験が続行できない場合は担当者の指示に従ってください。

12. 合格発表

2026年9月11日（金）10時

合格発表は合格者のみ通知します。学内掲示は行いません。本学の正式な合格発表は、合格発表日に合格証明書等の発送をもって行いますが、受験生の便宜を考慮し、「合否照会システム（インターネット）」による合否案内を行います。

なお、不合格通知書は送付いたしません。また、本学に直接連絡をしても合否に関わるお問い合わせは一切受けませんので、下記照会方法を確認してください。

(1) 利用方法・注意点

- ① インターネット、スマートフォン及び携帯電話で利用できます。
- ② 合否照会について、「誤操作」及び「見間違い」を理由とした、入学手続期間終了後の入学手続は認めません。
- ③ 合否発表当日は混雑のため回線がつながりにくいことがあります。その場合は、少し時間を置いてアクセスしてください。
- ④ 合否照会の利用期間は次のとおりです。

合否照会システム利用期間	
2026年9月11日(金)～2026年9月30日(水)	初日 10:00～ 最終日 23:59 まで

(2) インターネット（携帯・パソコン）での照会

<https://www.gouhi.com/nittai/>



合否照会システム利用期間内に上記アドレスへアクセスし、画面の指示に従って操作してください。また、本学ホームページ(<https://www.nittai.ac.jp/>)からも、上記アドレスへアクセスできます。

13. 入学手続

(1) 入学手続時納入金の手続締切日 2026年9月30日(水)

- ① 入学手続時納入金は、合格証明書に同封されている所定の「振込用紙」を使用し、手続締切日までに金融機関窓口で手続を行ってください。
- ② 合格者で手続締切日までに入学手続時納入金が未納だった場合は、入学辞退とみなしますので注意してください。
- ③ 振込金受取書(本人保存)は、入学手続きをした証明になりますので大切に保管してください。

(2) 入学辞退について

【窓口】 2027年3月31日(水) 17:00 まで

【郵送】 2027年3月31日(水) 消印有効(速達・特定記録郵便としてください。)

入学手続時納入金を振込み後、入学を辞退する場合は、上記期限までに入学辞退届(所定用紙)を提出してください。入学金を除く納入金を返還します。なお、返還には期間を要しますので、早急に手続きをしてください。

入学辞退届提出先: 日本体育大学 大学院教学センター

〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1 TEL 03-5706-0915

事務取扱時間: 平日 8:30 ~ 17:00

冬季一斉休業期間: 2026年12月26日(土) ~ 2027年1月5日(火)

14. 学 費

授業料及び施設整備費は、全額の1/2相当額を後学期に分納することができます。その場合、入学手続時の納入金額は、入学金・授業料(前学期分納分)・施設整備費(前学期分納分)・健康管理費・学友会費・同窓会入会金の合計金額となります。後学期は授業料(後学期分納分)・施設整備費(後学期分納分)のみとなります。

2027年度 日本体育大学大学院身体総合学術研究科 博士前期課程学費等一覧 (円)

費 目	納入期	金 額				
		日本体育大学以外の卒業生		日本体育大学卒業生		
		前学期	後学期	前学期	後学期	
①学 費	入学金	入学時のみ	100,000	—	0	—
	授業料	分納可	350,000	350,000	350,000	350,000
	施設整備費	分納可	50,000	50,000	50,000	50,000
	健康管理費	前学期	10,000	—	10,000	—
②その他 費用	学友会費	前学期	13,000 (入会金1,000円 を含む)	—	12,000	—
	同窓会 入会金	入学時のみ	20,000	—	0	—
総合計 (①+②)	分納の場合		543,000	400,000	422,000	400,000
	一括納入の場合		943,000		822,000	

※ 日本学生支援機構貸与奨学金「授業料後払い制度」があります。制度の利用を希望する方は、事前に大学院教学センターまでお問い合わせください。

《寄付金について》

本学では、教育研究環境充実のため、寄付金を募集する場合があります。但し、いずれも応募は任意で、入学前には募集いたしません。

●「国の教育ローン」(教育貸し付け)について

「国の教育ローン」は、「家庭の経済的負担の軽減」、「教育の機会均等」という目的のために昭和54年に創設された公的な融資制度です。民間金融機関の補完を旨とする政策金融機関である日本政策金融公庫(日本公庫)が扱っています。

詳しくは教育ローンコールセンター 0570-008656(03-5321-8656)、または「国の教育ローン」で検索、<https://www.jfc.go.jp/>から「国の教育ローン」を選択してください。

2027 年度 研究指導担当者及び研究指導領域

教育学学位プログラム 博士前期課程

研究指導担当教員の表記内容		
★★	研究指導教員	研究指導を担当することができる
★	研究指導補助教員	研究指導教員とともに研究指導ができる

【注意事項】

出願前に必ずご自身の希望する研究指導教員、または研究指導補助教員と連絡を取り、担当教員とご自身の考えている研究内容を十分にご相談して下さい。事前の連絡を取らずに出願することがないようにして下さい。

教員検索（大学HP 教員情報データベース）		研究者検索（国立研究開発法人科学技術振興機構）	
-----------------------	---	-------------------------	---

(50音順)

教員名	研究指導領域
★ 分野：基礎教育 教授 石田 有記 修士（教育学）	研究内容のキーワード：教育課程行政、学校経営、カリキュラム・マネジメント (1) カリキュラム研究 ①学校における教育課程の経営（編成・実施・評価）に関する研究 ②教育課程の展開を支える学校組織の経営に関する研究 (2) 教育課程行政研究 ①国における学習指導要領改訂をめぐる政策に関する研究 ②地方教育行政における学校の教育課程をめぐる政策過程に関する研究
	研究内容のキーワード：不安、ストレス、感情、態度、生理的反応、発達障害 心理学の立場から、心と身体に関連を実証的に研究し、その成果を教育や健康に応用する。調査ならびに実験により測定した ① 心理的反応、② 行動的反応、③ 生理的反応を分析し、仮説検証していく。
★★ 分野：理科教育 教授 稲田 結美 博士（教育学）	研究内容のキーワード：教材開発 カリキュラム研究 教師教育 女子教育 (1) 理科の教授・学習論 ① 理科に対する学習者の情意面に関する研究 ② 学習者の特性に応じた理科指導に関する研究 ③ 理科の教材開発に関する研究 (2) 理科の教科課程論 ① 理科の学習内容の選択および配列に関する研究 ② 理科の教科課程に関する国際比較研究
	研究内容のキーワード：道徳教育 道徳科 (1) 道徳教育 ①児童生徒の心を育てる実践的取組に関する研究 (2) 道徳科 ①道徳授業の充実へ向けた教材開発に関する研究 ②道徳授業づくりに関する研究 ③道徳授業における教師の授業力量向上に関する研究

教員名	研究指導領域
<p>★★★ 分野：体育科教育 教授 近藤 智靖 博士（体育科学）</p>	<p>研究内容のキーワード：体育科教育学、スポーツ教育学</p> <p>(1) 体育科のカリキュラム論 ① 体育の教育課程における目標に関する研究</p> <p>(2) 体育科の学習指導論 ① 体育の教材に関する研究 ② 教師行動に関する研究</p> <p>(3) 体育授業研究 ① 体育における学習成果に関する研究 ② 児童生徒行動に関する研究</p>
<p>★★★ 分野：体育科教育 教授 白旗 和也 博士（スポーツ健康科学）</p>	<p>研究内容のキーワード：体育科教育学、教師教育、幼児期・児童期の発育発達</p> <p>(1) 体育科の指導に関する研究 ① 学習指導要領に基づく、カリキュラム作りに関する研究 ② 体育の教材づくりに関する研究 ③ 学習カード、ICT活用などの評価の研究</p> <p>(2) 教師教育に関する研究 ① 教師の効力感向上に向けた支援方法の研究 ② 教師行動に関する研究</p> <p>(3) 発育発達に関する研究 ① 幼児期の動きづくりに関する研究 ② 児童の動きの獲得・体力の変化に関する研究</p>
<p>★★★ 分野：国語科教育 教授 杉本 直美 博士（教育学）</p>	<p>研究内容のキーワード：読書指導、作文指導、学力調査</p> <p>(1) 国語科学習指導論 ① 読書生活を視野に入れた読書指導に関する研究 ② 記述過程を中心とした作文指導に関する研究</p> <p>(2) 国語科学習評価論 ① 学力調査を活用した評価（特に記述における評価）に関する研究 ② 学習指導要領を踏まえた学習評価に関する研究</p>
<p>★★★ 分野：体育科教育 准教授 鈴木 康介 博士（スポーツ科学）</p>	<p>研究内容のキーワード：体育科教育学、スポーツ教育学、教材開発、運動指導</p> <p>(1) 体育科の学習指導に関する研究 ① 体育の授業づくり、教材づくり、教材構成に関する研究 ② 体育における運動指導に関する研究 ③ 学校における教科横断的な学びに関する研究</p> <p>(2) 幼少期における運動指導に関する研究 ① 幼少期の子どもの動きに関する研究 ② 教育課程内・課程外における子ども（幼児・児童・生徒）の運動指導に関する研究</p>
<p>★★★ 分野：基礎教育 教授 関 芽 修士（教育学）</p>	<p>研究内容のキーワード：教育行政、教育制度</p> <p>①教育の専門的指導性と民衆統制の調和の探究 ②教育における意思決定の正当性と正統性の探究 ③熟議民主主義実現における課題とその克服の探究 ④公教育における価値中立性の探究</p>

教員名	研究指導領域
<p>★★★ 分野：社会科教育 教授 田口 紘子 博士（教育学）</p>	<p>研究内容のキーワード：社会科教育学、教科教育学</p> <p>(1) 社会科教育の原理研究 ① 社会科教育の理論的基盤 ② 小学校社会科の目標と構成</p> <p>(2) 初等社会科教育指導の研究 ① 社会科学習指導の原理 ② 社会科授業研究 ③ 社会科教育における評価</p>
<p>★★★ 分野：体育科教育 教授 野井 真吾 博士（体育科学）</p>	<p>研究内容のキーワード：教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学、子どものからだ、子どもの体力、子どもの健康</p> <p>キーワードは、「子ども」「からだ」「心」「体力」「健康」「元気」「生活」。</p> <p>研究領域は、教育生理学、学校保健学、発育発達学、体育学。具体的には、子どものからだ、心、体力、健康、元気、生活が「どこかおかしい」、「ちょっと気になる」、「なんか心配」といった保育・教育現場の教諭や養護教諭、さらには、子育て中のお母さん、お父さんの“実感”をたよりに、子どものからだにこだわってその“事実”を明らかにし、“実体”を追究する活動（問題を発見するための研究）と、発見された健康課題を改善し、子どもの元気を具現化するための活動（問題を解決するための研究）とに努めている。</p>
<p>★★★ 分野：基礎教育 教授 半田 勝久 修士（教育）</p>	<p>研究内容のキーワード：教育制度、人権教育、子どもの権利、子ども条例、子ども計画</p> <p>(1) 教育制度学にかかわる研究 ① 法解釈学的研究（教育制度に関する法の論理から教育法を解釈する） ② 法社会学的研究（教育制度の制定・実施・改善の過程や社会慣行と法制度との関係などを明らかにする）</p> <p>(2) 子どもにやさしいまちづくりにかかわる研究 ① 子どもの権利条約、子ども条例に関する研究（制定、運用、評価・検証 他） ② 子ども計画に関する研究（策定、実施、評価・検証 他） ③ 子どもオンブズパーソン制度に関する研究（法制度、独立性、運営、研修 他） ④ 子どもの権利の普及・啓発（人権教育、子どもの権利学習 他）</p>
<p>★★★ 分野：基礎教育 准教授 村井 敬太郎 博士（体育科学）</p>	<p>研究内容のキーワード：知的障害、特別支援学校（知的障害）、体育科、保健体育科の授業、子どもの運動支援、教員・支援員支援</p> <p>特別支援学校（知的障害）や児童発達支援の先生方と協働し、主に学校等の現場において特別支援学校（知的障害）における体育科、保健体育科の授業づくりや児童発達支援における子どもの運動遊びに関する実践研究に取り組んでいます。主な研究領域は次の通りです。</p> <p>1.特別支援学校（知的障害）体育科、保健体育科の学習支援に関する研究 1)体育科、保健体育科の授業づくり、教材づくり、教員支援等に関する研究 2)体育科、保健体育科等における子どもへの運動支援に関する研究 3)特別支援学校（知的障害）における体育科、保健体育科の教育課程に関する研究</p> <p>2.知的障害のある子ども（主に幼少児）への運動支援に関する研究 1)知的障害のある子ども（主に幼少児）の体の動きの向上に関する実践研究 2)知的障害のある子ども（主に幼少児）の日常生活動作支援に関する実践研究</p>
<p>★★★ 分野：算数科教育 助教 村田 翔吾 博士（教育学）</p>	<p>研究内容のキーワード：算数科・数学科教育学、数学的活動</p> <p>(1) 算数科・数学科教育内容論 ① 算数科・数学科の目標・内容の構成原理に関する研究 ② 算数科・数学科における教育課程文書・教科書の比較研究</p> <p>(2) 算数科・数学科教育方法論 ① 算数科・数学科における教材開発（課題設計）に関する研究 ② 算数科・数学科における探究活動の促進に関する研究</p>

教員名	研究指導領域
<p>★★ 分野：基礎教育 教授 若尾 良徳 博士（教育学）</p>	<p>研究内容のキーワード：発達心理学、教育心理学、教師・保育者、キャリア形成、働き方、職場風土、ライフコース</p> <p>(1) 発達・教育に関する心理学的研究 ① 子どもの発達に関する研究 ② 子どもの学びと心理的適応に関する研究</p> <p>(2) 教師・保育者のキャリアと職場に関する研究 ① 教師・保育者のキャリア形成、職業意識、職業継続に関する研究 ② 教育・保育現場における働き方、人間関係、職場風土に関する研究</p> <p>(3) ライフコースと心理社会的発達に関する研究 ① 青年期から成人期にかけての進路選択、職業意識、将来展望に関する研究 ② 仕事、家庭、生活の調和と個人の発達・適応に関する研究</p>

[博士前期課程] 研究指導教員一覧表(研究指導補助教員を含む)

(教員資格欄) 指導－研究指導教員、(補助)－研究指導補助教員

教員資格	氏名	フリガナ	担当分野	電話番号	メールアドレス
(補助)	石田 有記	イダ ユキ	基礎教育	(03) 5706-1265	yk.ishida@nittai.ac.jp
指導	市川 優一郎	イチカ ユウイチロウ	基礎教育	(045) 530-5143	yichikawa@nittai.ac.jp
指導	稲田 結美	イダ ユミ	理科教育	(03) 5706-1317	inada@nittai.ac.jp
指導	門脇 大輔	カドワキ ダイスケ	基礎教育	(03) 5706-0947	kadowaki@nittai.ac.jp
指導	近藤 智靖	コンドウトモヤス	体育科教育	(03) 5706-1337	kondohtomoyasu@nittai.ac.jp
指導	白旗 和也	シラハタ カズヤ	体育科教育	(03) 5706-1495	shirahata@nittai.ac.jp
指導	杉本 直美	スギモト ナミ	国語科教育	(03) 5706-1589	sugimoto.n@nittai.ac.jp
指導	鈴木 康介	スズキ コウスケ	体育科教育	(03) 5706-0960	suzuki-kosuke@nittai.ac.jp
指導	関 芽	セキメグム	基礎教育	(03) 5706-1368	megumuseki@nittai.ac.jp
指導	田口 紘子	タグチ ヒロコ	社会科教育	(03) 5706-0924	h-taguchi@nittai.ac.jp
指導	野井 真吾	ノイ シンゴ	体育科教育	(03) 5706-1543	nois@nittai.ac.jp
指導	半田 勝久	ハンダ カツヒサ	基礎教育	(03) 5706-1267	khanda@nittai.ac.jp
指導	村井 敬太郎	ムライ ケイタロウ	基礎教育	(045) 963-7938	kmurai@nittai.ac.jp
指導	村田 翔吾	ムラタ ショウゴ	算数科教育	(03) 5706-1493	smurata@nittai.ac.jp
指導	若尾 良徳	ワカオ ヨシノリ	基礎教育	(03) 5706-0896	wakaoy@nittai.ac.jp

《出願写真に関する注意事項》

適切な写真例



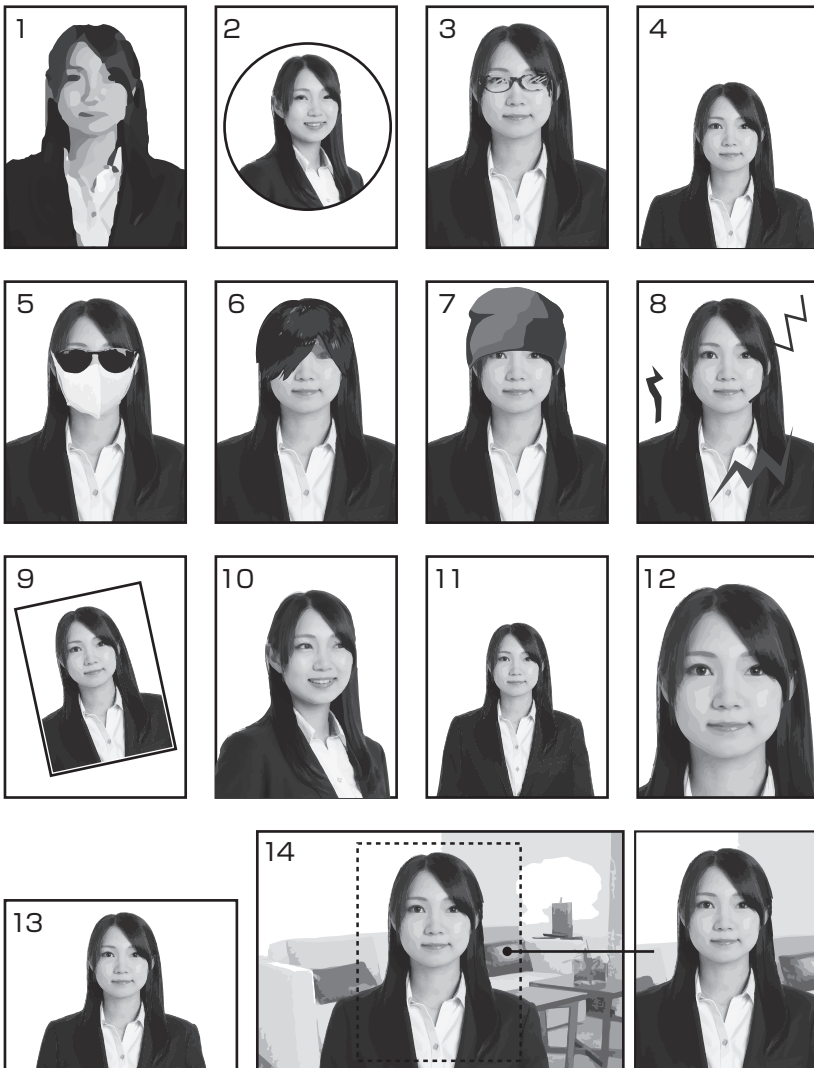
縦 4 cm

横 3 cm

■ 写真の規定

- 写真サイズは縦 4 cm × 横 3 cm
- カラー写真、白黒写真いずれも可とします
- 出願前 3ヶ月以内に撮影したもの
- 背景は無地(白・青・グレー)に限ります
- 正面を向いた本人の顔がはっきり確認できるもの
- 上半身で脱帽、頭部全体が写っている
- 所定用紙(受験票・写真表・志願表)に貼付する写真は、全て同一の写真を貼付してください

下記項目に該当する場合は受付できませんのでご注意ください。



■ 受付できない写真例

- 1, 被写体が不鮮明(画像が荒い)
 - 2, スナップ写真・SNS・ブログ等から流用した写真
 - 3, 眼鏡のレンズに光が反射している
 - 4, 頭上の余白部分が多い
 - 5, サングラスやマスクをしている
 - 6, 前髪や前髪の影で目を隠し、顔が確認できない
 - 7, ヘアバンドや帽子で頭髪を覆っている
 - 8, 変色していたり、キズや汚れがある
 - 9, 証明写真を再撮影したもの
 - 10, 被写体が正面を向いていない
 - 11, 被写体が小さい
 - 12, 被写体が大きすぎて写真からはみ出している
 - 13, 写真サイズが横に長い
 - 14, 背景に家具等が写っている
- ※ 該当する場合は必ず撮り直してください。